

2014年度 ディアコニア事業計画

特別養護老人ホーム「ディアコニア」は、キリスト教精神に基づいて地域社会の高齢者とその家族のために仕えることを目的として法人設立に合わせて開設されました。施設の名称「ディアコニア」はギリシャ語で聖書の中にあり、その意味するところは「奉仕する」「仕える」ということです。施設の特徴の一つとしてチャプレンがいて、精神的支えとなる働きをしていることです。

特別養護老人ホーム「ディアコニア」は、その言葉が示すように、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場にたって支援やサービスを提供するという姿勢で取り組んできました。また、利用者に在宅感覚で過ごしていただけるように、家庭的な雰囲気を維持することにも努めてきました。入所者のための建物は、個室と共同生活空間からなるユニットとなっており、自由や尊厳を守りながら、利用者と職員とで一つの家族のように感じられるような配慮もされています。

また、地域のニーズに応えるため、老人のデイサービス、短期入所事業、居宅介護事業、居宅介護支援事業なども行っています。

しかし、開設から10年が経過し、次のような課題も抱えてきました。

- ① 職員の退職者が多く、補充に困難なことが多い。特に、看護師、介護福祉士などの有資格者と、新規学卒者など若者の採用が難しい。
- ② 介護経験が少ない、又はないという職員が多く、質の高いサービスの提供に課題がある。
- ③ 職員の補充が困難であると職員の負担が重くなり、退職につながるなどの悪循環になっている。
- ④ 職員不足で、地域のニーズに応えるための事業が十分に行えない状況が生まれている。

以上のような状況から、事業所、法人をあげて職員の確保に努めるとともに、採用した職員が1日でも早く一人前の戦力となるように研修の工夫に努めていきたいと思えます。

また、利用者一人一人が大切にされるように、職員一人一人も大切にされて、協働による充実感や働き甲斐が感じられるような職場にしていくことが大切であると感じています。

このような中で、2014年度は以下のような重点目標を掲げます。

ディアコニアの職員が、理念を理解し、仕事への向上心を持ちながら、様々な職種の職員が連携してサービスを提供できるようにすることを第一の目標とします。また、入所者はユニットケアにより、平穩にプライバシーを確保されながら生活できるようにしていきます。

このため、以下の4点を重点項目とします。

1. 理念の継承

理念を具体的に職員に伝える機会としてオリエンテーション等を行い、「今、目の前にいるお一人お一人を大切にする」とは何かを伝え、職員と一緒に考えていきます。法人の理念と併せて、職員の誰でも理念を理解しているように浸透させていきます。

2. 各自が仕事への向上心を持つ

職員が入所者・利用者へより良いサービスを提供するため、スキルアップできるような環

境を作ります。職員が自分に合った研修を受けることができ、更なる資格取得に挑戦するのも良いと思います。これらの努力により、外部からの中学生・福祉学校の実習生を受け入れ指導することが出来、自信に繋がるでしょう。また、業務マニュアルを見直し、介護経験の少ない職員が早く施設の仕事をマスターできるようにしていきたいと思います。

3. 職種間のチームケアを深める

各職種のメンバーが集まり会議を持つことは、意見を出し合い理解を深めることにつながります。話し合われた内容は、代表者だけが理解しているのではなく、各ユニットの職員まで伝達され実行にされるようにしていきます。

4. ユニットケアの充実

施設のユニットは入所者にとって家庭のようなものです。プライバシーが確保された個人の部屋があり、親しい方達と共同生活をするリビング等があります。入所者は、個性豊かな方々の集まりですが、ここでの日々が穏やかで楽しみのあるよう職員が援助していきたいと思います。